

「社会保障制度に関する特別世論調査」の概要

平成 20 年 9 月
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数	1,822 人 (60.7%)
	調査期間	平成 20 年 7 月 24 日～8 月 3 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	社会保障制度に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	<ol style="list-style-type: none">1 社会保障制度に対する満足度2 社会保障制度の中で満足している分野3 社会保障制度の中で満足していない分野4 社会保障の給付と負担のバランスについて5 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について6 社会保障制度の中で緊急に改革に取り組むべき分野	

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1
電話 03(3581)0070
FAX 03(3580)1186

「社会保障制度に関する特別世論調査」の要旨

平成 20 年 9 月
内閣府政府広報室

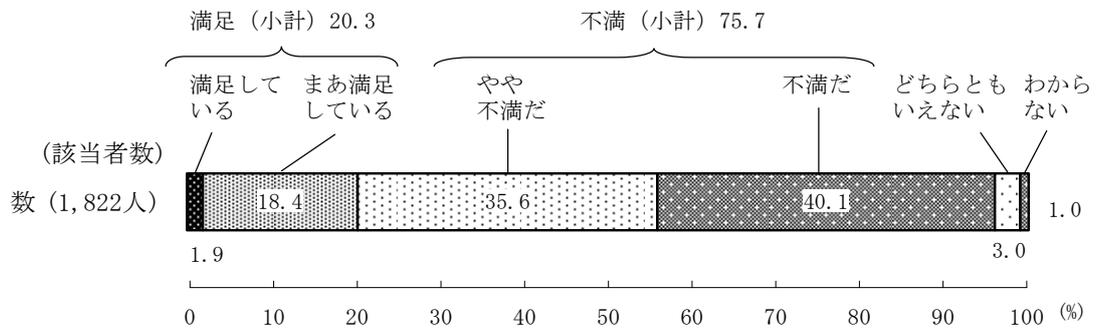
調査時期：平成 20 年 7 月 24 日から平成 20 年 8 月 3 日
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
回収結果：1,822 人 (60.7%)

1 社会保障制度に対する満足度

平成 20 年 7 月

・満足（小計）	20.3%
・満足している	1.9%
・まあ満足している	18.4%
・不満（小計）	75.7%
・やや不満だ	35.6%
・不満だ	40.1%
・どちらともいえない	3.0%
・わからない	1.0%

総

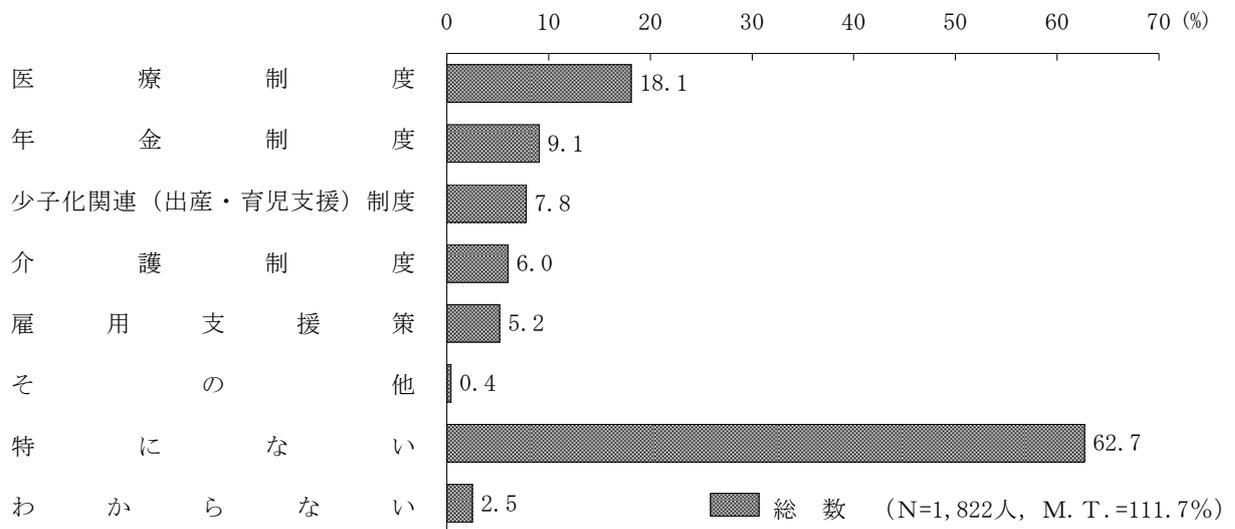


2 社会保障制度の中で満足している分野（複数回答）

平成 20 年 7 月

・医療制度	18.1%
・年金制度	9.1%
・少子化関連（出産・育児支援）制度	7.8%
・介護制度	6.0%
・雇用支援策	5.2%
・特にない	62.7%

(複数回答)

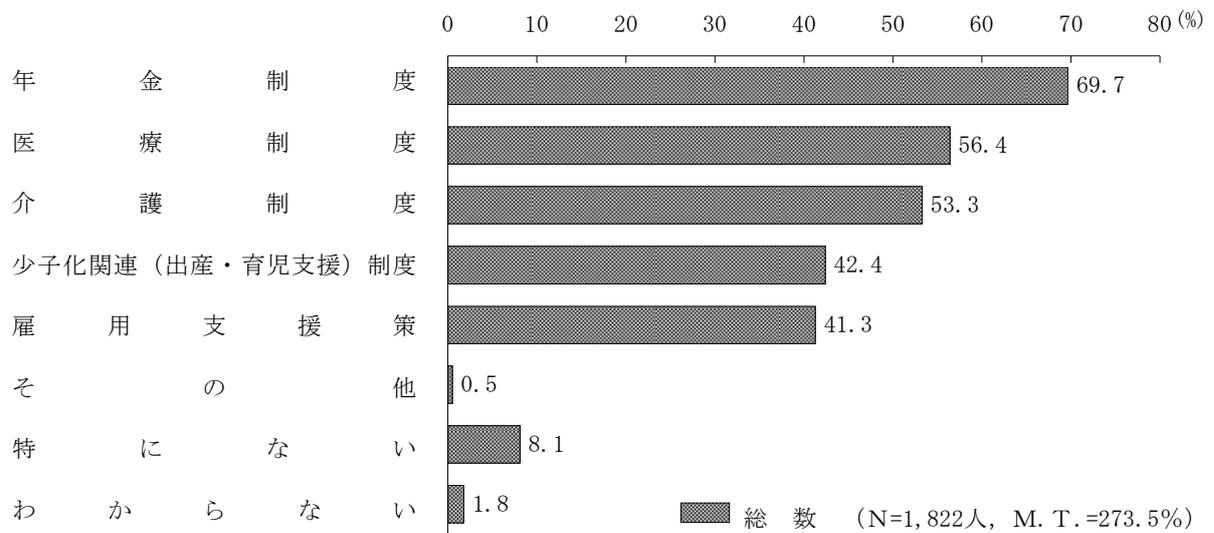


3 社会保障制度の中で満足していない分野（複数回答）

平成 20 年 7 月

・年金制度	69.7%
・医療制度	56.4%
・介護制度	53.3%
・少子化関連（出産・育児支援）制度	42.4%
・雇用支援策	41.3%

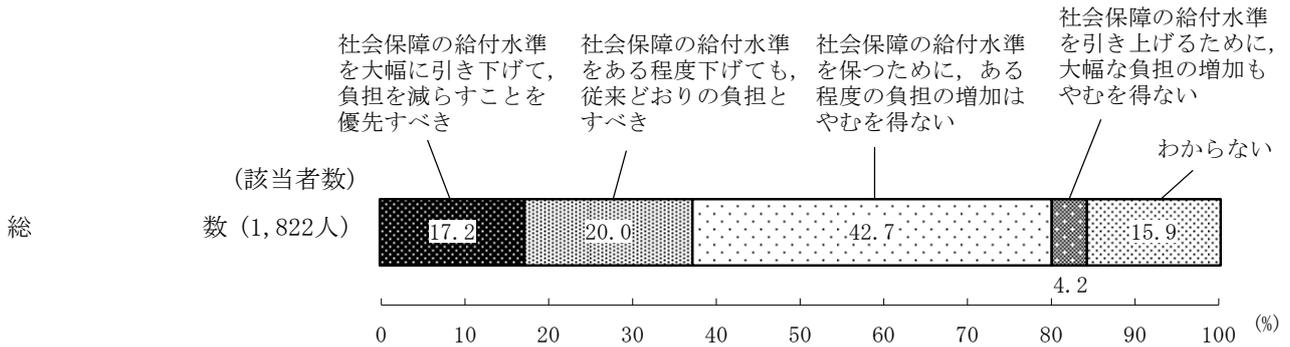
(複数回答)



4 社会保障の給付と負担のバランスについて

平成 20 年 7 月

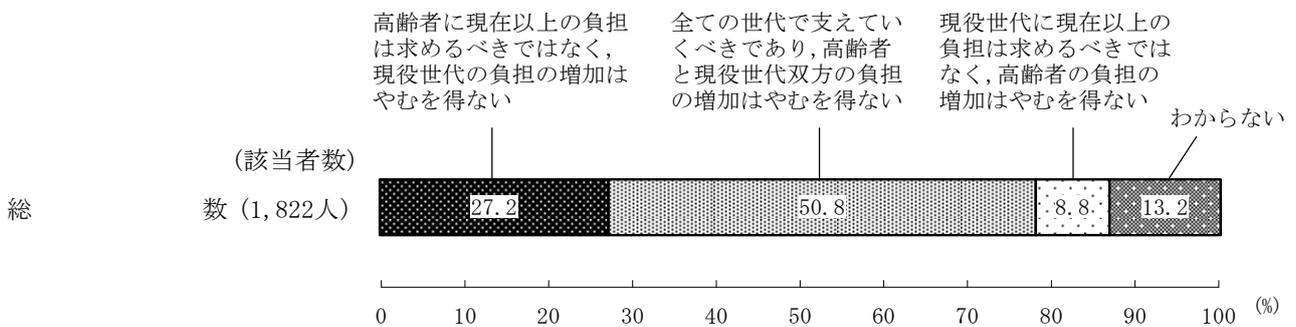
- ・ 社会保障の給付水準を大幅に引き下げて、負担を減らすことを優先すべき 17.2%
- ・ 社会保障の給付水準をある程度下げても、従来どおりの負担とすべき 20.0%
- ・ 社会保障の給付水準を保つために、ある程度の負担の増加はやむを得ない 42.7%
- ・ 社会保障の給付水準を引き上げるために、大幅な負担の増加もやむを得ない 4.2%
- ・ わからない 15.9%



5 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について

平成 20 年 7 月

- ・ 高齢者に現在以上の負担は求めるべきではなく、
現役世代の負担の増加はやむを得ない 27.2%
- ・ 全ての世代で支えていくべきであり、
高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない 50.8%
- ・ 現役世代に現在以上の負担は求めるべきではなく、
高齢者の負担の増加はやむを得ない 8.8%
- ・ わからない 13.2%



6 社会保障制度の中で緊急に改革に取り組むべき分野（複数回答）

平成 20 年 7 月

・年金制度	63.9%
・医療制度	53.2%
・介護制度	49.9%
・少子化関連（出産・育児支援）制度	38.4%
・雇用支援策	33.0%

(複数回答)

